



国際医療リスクマネジメント学会

臨床コミュニケーション実習研修 2015 (上級コース)

―― 医療事故時のクライシスコミュニケーション専門家の育成 ――

主催者の挨拶

リスクと情報には大変深く複雑な関係が介在しています。この密接な関係を検討する過程の中で、日米英の医療訴訟に共通してそれらの根本原因の7割が医療従事者と患者・遺族のミスコミュニケーションであるという衝撃的に調査報告が見出されました。

患者のニーズに対応し、かつ臨床コミュニケーションの失敗と成功の事例に関して、合理的に収集、整理、共有するにはどのような点に配慮を検討する必要があるのでしょうか。この難問に答えるために、国際医療リスクマネジメント学会が2006年12月に日本で開催した医療安全教育セミナーを出発点として、医療安全と臨床コミュニケーションの様々な話題について多数の講師陣により講義ないし小実習を展開してきました、2013年度には3日間にわたって「医療安全と臨床コミュニケーション」に関する本格的な研修会を試験開発しました。

以上の経緯から、今年度から「医療安全のための学会認定臨床コミュニケーター」資格制度を実施します。この資格の目的は、医療安全分野における臨床コミュニケーションに関する高度な臨床家を育成し、臨床現場での難解な臨床コミュニケーションの諸問題を解決するリーダーとして、安全で信頼される医療を推進することです。

プログラムでは、本分野において日本を代表する臨床の先生方により、臨床講義、ロールプレイやワークも取り入れ、体験的に臨床コミュニケーションの幾つかの方法について学習します。
なお、本研修会は臨床コミュニケーターの基本コースであり、受講者は後日の3連続日にわたり開催される「より高度な知識と技術を上級コース向け研修会」の受講資格が得られます。

本修会により、あなたの医療機関に高度な安全文化と患者・家族からの納得と信頼が構築できます。

2015年9月

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長)

山口 建、荒木 登茂子、辰巳 陽一